

サンシャインウエザーメータ老化試験

この試験目的は、限りなく屋外の状況に近い状態で加速試験の出来るサンシャインウエザーメータを用いて屋外曝露の結果との比較を行っている。

結果的には最大2000時間の放置老化をかけた後、2 3 の室内で7 2時間放置し、その後2 3 の室温で測定を行った。結果として、ほとんど初期値と変化無いことが確認出来、屋外曝露結果よりも値の変動が少ない。また、加熱老化試験の50 x10日程度の値であり、浸漬試験の結果と同様に、吸水による軟化の傾向は確認されなかった。

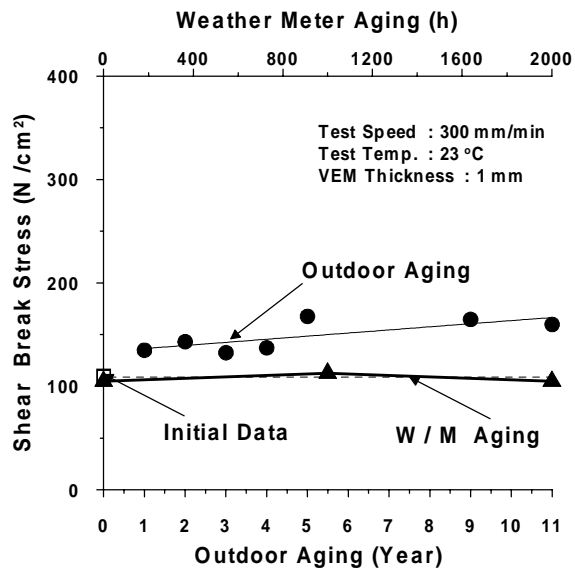


Fig.40 : Compare Weather Meter Aging to Outdoor Aging